

出張医学教育FD

(こころの医療センター駒ヶ根)

【日時】 平成26年11月5日 17時00分～ 17時30分

【場所】 こころの医療センター駒ヶ根

【参加人数】 14名

【内容】

○卒前クリニカルクラークシップの現状

○信州大学における今後の臨床実習

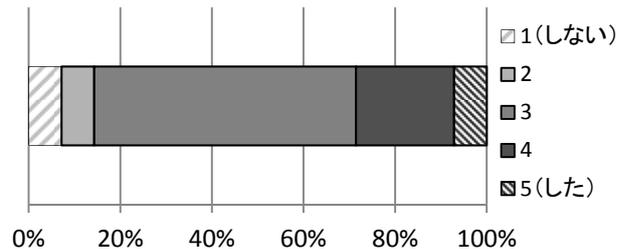
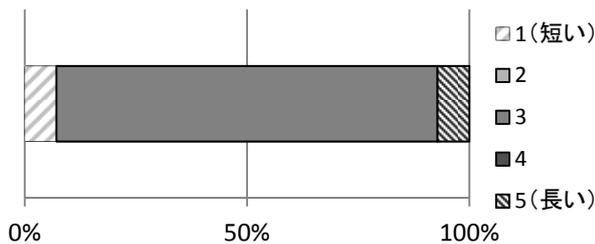
- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

○患者の同意と事故補償



FDの開催時間はいかがでしたか。

FDはニーズにマッチしましたか。



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
現状の医学教育の状況。	精神科については大学での実習の方が勉強になると思う(幅広い鑑別、治療方針の立案を含めて)	リハでレクチャーさせていただいていますが、実際の場面でコミュニケーションが取れない学生さんが多くて困ります。
卒後3年の医師がアメリカの医学生レベルということ。	どこまで学生に関わってもらうのか？その評価法について。	またお願いします。
実践的な医学教育の必要性。		
大学病院の実態。		
参加型実習。		
新しい臨床実習の必要性が良く理解できた。		
医学生の流れが分かった。		
学生は学ぶことが増えて大変だと思った。		
グローバリズムとガラパゴス化。そして、それらに伴った医学教育現場の変化。		
現場での教育の大切さ。		
内容はわかりやすかった。		